

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

高工業 田辺

旋盤やプログラミング

中学生が体験学習

田辺市あけぼのの田辺工業高校は18日、中学3年生を対象にした体験学習を開いた。194人が参加し、学科に分かれて実習授業を見学したり、体験したりした。毎年この時期に、進路選択の参考になるようにと開いて

いる。花本明校長は「10年後、20年後も機械をメンテナンスする仕事は、機械が人間に取って代わることはない」と確信している。工業高校は就職に有利であることを知ってほしい」とあいさつした。全体会では、生徒会から学

校や学科の紹介、体操部と弓道部のパフォーマンスがあった。その後、中学生は希望の学科に分かれ、高校生の案内に従って、工業高の専門的な授業を見学し体験した。部活動の見学もあった。機械科ではフライス盤やCAD（コンピューターによる設計）などを体験。実際に、目を保護する眼鏡を掛けて、旋盤を使って金属を削った。電気電子科ではモーターの動作確認をしたり、高圧の電気

を放電したりした。情報システム科では、ロボットのプログラムを設定して、前のロボットに付いて動くようにするなどの体験があった。すさみ町周参見中学校の橋本響君（14）は「普段できない体験ができてよかった。高

校生は細かく優しく教えてくれた」と話し、田辺市高雄中学校の瀧本明花さん（14）は「設備が充実していて、前から興味があったけどもっと、受験したいと思った」と笑顔を見せた。



高校生の指導の下、旋盤の機械で金属を削る中学生
(田辺市あけぼので)